

●経理上手くんα Pro II 【学校法人】 Version:7.701

●経理上手くんαクラウド Pro II 【学校法人】・経理上手くんαクラウド SE Pro II 【学校法人】 Version:7.701

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

- ◆ Atlas シリーズのバージョンアップに伴う対応を行いました。
- ◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**学校法人 d b (VERSION:7.701) の変更点**”を参照してください。

📌 注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

学校法人 d b (VERSION:7.701) の変更点

修正

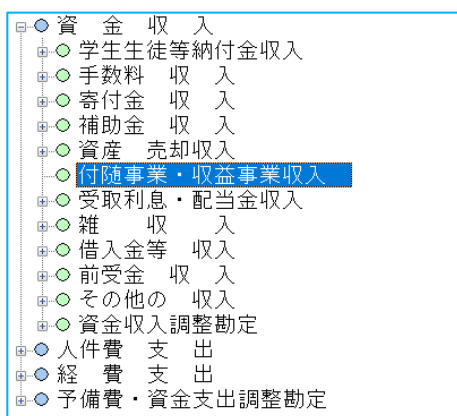
I. 導入・更新

1) データ抽出

- ①「原票イメージを対象とする」にチェックを付けて仕訳データを抽出した際、抽出先マスターの原票データの内容を管理する番号が重複してしまうケースがあり、その場合に原票ビューア等の業務で一括検証を行うと、エラー内容に「× ファイルが改竄されています。」と表示されていたため、抽出処理時に原票データの内容を管理する番号が重複しないように修正しました。
- ※「原票イメージを対象とする」機能は電帳法対応オプション契約時の機能です。

2) 財務マスターコンバージョン db

- ①旧会計基準から新会計基準へコンバートすると、収支科目名称で付随事業・収益事業収入に明細科目がなく、資産売却収入の小分類科目、明細科目が正しく作成されていなかったのを修正しました。



II. 登録・入力

1) 元帳検索

- ①元帳検索で資金繰り諸口枝番を選択画面に表示する際に、選択番号が表示されていなかったのを修正しました。

2) 新規会社登録・修正・削除

- ①作成済みマスターの“決算期間の変更”と“枝番・部門を「行わない」から「行う」に変更”するのを同時に行うと不正終了していたのを修正しました。

3) 部門設定

- ①会社登録業務で、消費税区分集計「部門：行わない」にしている場合、「消費税区分を設定する」を変更できていたため、変更できないように修正しました。

Ⅲ. その他

1) クラウド共有に関する対応（共有オプション契約のみ）

- ①クラウド共有オプションの契約はしており、顧問先（上手くんα）にてプログラムがインストールされていない場合、会計事務所側で「共有オプション【マスター紐づけ】」において、共有マスターの登録が行えなかったのを登録が行えるようにしました。

- ②会計事務所、顧問先（上手くんα）の双方がSQL2012でクラウド共有していて、その後会計事務所側がリプレース（SQL2019）を行った場合、顧問先（上手くんα）側でSQL2012→SQL2019へバージョンアップができない状態になっていたのを修正しました。

以上